



# 海に見える命の森とは

南三陸「海に見える命の森」は震災前は雑木林でした。震災後、2012年から多くの有志やボランティアの皆様の手を借りながら桜やもみじを植樹し、将来的には来訪者が自然とふれあえる観光スポットや地域住民の憩いの場、そして春はお花見、秋は紅葉狩りができる地域の散歩道となるようにという想いを込めて整備を進めてきました。

### 総合学習の場として

海と山岳地帯・市街地の全体を見渡することができる「海に見える命の森」は、人と自然との関わりを学習する為に最適な地理環境です。

### 観光資源として

絶景の場所であるとともに、「海に見える命の森」は多様な雑木林の中に桜やモミジなどの植物があり自然と触れ合える憩いの場として整備をしています。

### 祈りの場として

海を見下ろす丘の上には「南三陸大仏」が鎮座し、また「津波でんこの石碑」もあり、東日本大震災で亡くなられた方々の慰霊の場となっています。

### 避難の場として

高台には「パイオトイレ」や「避難小屋」などが整備されつつあり、桜や大仏のあるこの地は「この場所まで避難すれば命を守れる」と自然に意識できるシンボルとなります。

我々はこの森を有志とボランティアの皆様と共同作業で整備してきました。この整備にはまだまだ人手と時間が必要と思っています。皆さんと体験プログラムを通して、共にこの森の育成をしていけば、参加者皆さんの森になるでしょう。ぜひ皆さんのお力をお貸しください。



## 防災減災伝承体験プログラム お申込みについて

- 対象者：小学生以上※ ※小学生は保護者同伴。中学生・高校生は保護者承諾書提出必要。
- 実施期間：2020年7月23日開始（9時～17時の時間でご相談ください）
- 料金：1名参加費2000円（税込）（軽食付き）  
当日で現地にてお支払いください。団体の場合は別途でご相談ください。
- 対象プログラム ※プログラムの組み合わせはご相談ください。
 

① 海に見える命の森 語り部ガイド (※②③④⑤⑥と連動する基本コース)	a. 語り部ガイドと地域案内（30分） b. 語り部ガイドと森の案内（60分） c. 語り部ガイドと潮風トレイルコース案内（120分）
② 避難所体験「食べる事は生きる事」 石窯で手作りピザをつくろう	【2020年限定】 ④ 海に見える小屋をつくろう ⑤ 手作りピザ釜をつくろう ⑥ 手作りでかまどをつくろう
③ 避難所体験「食べる事は生きる事」 手作りかまどでごはんを炊いて食べよう	

●お申込み方法について： ※天候やガイドの都合により中止の日がございます。催行中止の場合はこちらからご連絡させていただきます。

メールにてお知らせ下さい。お申し込み頂いた後に詳しい資料をお送り致します。

メールにご記載頂く内容 ※複数名の場合は人数分の情報をご記入ください。  
宛先：umimori0311@gmail.com 件名：【防災減災伝承体験プログラムお申込み】

①参加希望のプログラムナンバー	⑥連絡先（いつでもご連絡がとれる番号）
②お名前（ふりがなもお願いします）	⑦参加期日
③学校名と学年、またはご職業	⑧交通手段
④性別	⑨日帰りか宿泊どちらか
⑤年齢	



概要

団体名 海見える命の森実行委員会（任意団体、2016年設立）  
住所 〒986-0766 宮城県本吉郡南三陸町黒崎 99-17 南三陸ホテル観洋内  
電話 0226-46-2442 南三陸ホテル観洋内担当者（事務局長 昆野守裕）  
メール umimori0311@gmail.com  
海見える命の森実行委員会事務局宛（副実行委員長 阿部寛行）



この活動は、3・11メモリアルネットワーク（JTNP0 応援）基金を活用しています。  
（リーフレット制作、イラスト：サカグチショウ）

## 次代を担う皆さんへ

南三陸町は、分水嶺を境に山と海に囲まれたまち。  
『海に見える命の森』実行委員会は  
東日本大震災で被災した宮城県・南三陸町の有志で  
2016年にスタートしました。

本震災で、生きることの根底には自然の支えがある事を学びました。  
本震災から我々が得た学びと気持ちは後世への資産であり  
その伝承は次代を担う人々にとって大切なことです。  
後世に伝えねばならない事、祈りたい事、残したい事・・・

志津川湾を一望できるこの場所を  
「桜と海の絶景」として整備することができれば  
世代を超えて南三陸に風景という資産と  
被災伝承の想いを残すことができると考えています。

この森で学び、これからどんな生き方をすべきか  
一緒に考えてみませんか。



# 南三陸 海に見える命の森

防災減災伝承体験プログラム ご案内  
海見える命の森実行委員会  
協賛：南三陸ホテル観洋

# 防災減災伝承体験プログラム

## 参加者を募っています

「小屋づくり」「井戸掘り」「かまどづくり」の体験は、災害時における生き方を学ぶ貴重な学習機会となります。  
 ライフラインの整備を通じ、私たちがいかに便利な他人任せで生きているかの気づきとなるでしょう。災害時にはそのすべてを失うことを大震災で知りました。そんな非常時にも生きていける人になりませんか？一緒に学んでみましょう。

場で体験する

語りを聞く



2019年3月、桜植樹をした際の集合写真です